

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
中瀬・赤佐・鹿玉	15	中瀬は南東畑が栄えている	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	東名ができたため難しい	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	鹿玉は露地、水田があり残していく必要がある	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	中瀬2区、5区は残されている	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	中瀬7区水田残っている	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	宮口、新原は水の整備ができています	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	赤佐は水田が広がっている	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	どの地域も若い担い手がいる、まだ何年も大丈夫である	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	中瀬は用水がない	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	中瀬は透明が通り市街化が進んでいる	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	中瀬は砂利採取後はどうするか問題である	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	赤佐は水田の区画が小さめである	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	鹿玉は住宅がところどころあり農業がかけずらいが担い手は多い	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	新原は畑かんの整備が完了している、農地は有効利用できている	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	大平は畑が飛び地のため整備が必要	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	赤佐は、北部地域は地主が土地活用を考えていて田畑をやりずらい	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	灰木は消毒するときに住宅へ配慮している	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	新原小近くは新築が増えている	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	中瀬は家が多くなった、農業ができる場所とできない場所が混在している	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	大平小や152号あたりは農地継続が可能と思われる	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	中瀬は住宅が多くなって転用が増えて農地が減るかもしれない	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	鹿玉は、新原は畑かんがあるのでやりやすい	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	水田で見ると赤佐、鹿玉はもう少し集約してほしい、特にピアゴ東側は手間がかかる	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	宮口は担い手が入っている	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	根型でも担い手が入っているので空いているところなし	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	ピアゴ東は用水が悪いので改良してもらえるとやっていけそうな場所	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	大平は今基盤整備に向けて進めている	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	新東名～採石場までの間の大平地域は、80haある農地のうち青地は55～56haある、7割は柿、みかん	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	大平の農業者の平均年齢は70歳くらい(10戸ほどは次世代の担い手)	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	中瀬にも柿の産地があった	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	赤佐は、景色の良いところは宅地にしてもよいのでは	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	鹿玉の植林は木を抜いてやめているところもある	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	鹿玉は太陽光発電が増えつつある	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	鹿玉地区の話し合いでは街中の若者が担い手として来たいという声があった	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	このままだと農業がつぶれてしまう。	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	浜北全域の農地はすべて守られるべきもの	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	赤佐の362号の北側はサルの被害が多い	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	天竜病院周辺は農業ができない	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	太陽光があつて耕作放棄地が増えている	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	集約すると営農型太陽光が中に入ってしまう	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	砂利採取後は農地として利用されていない、水はけがだめ	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	いいものがない、業者に頼んでなるべく水はけをよくしてもらおうように動いている	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	中瀬は、地主は売りたい人が多いため砂利採取になってしまうことがある	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	自分の地区しか知らなかった所以他地区のことも分かって勉強になった	R5.3.31

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
中瀬・赤佐・鹿玉	15	大平の柿は定年退職後に農業を始めてよい成績の人が多く(行政でも支援してほしい)	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	宮口には畑かんがない(水の問題)をどうにかしてあげると新規が入りやすい	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	近隣の家に気を付けながら消毒を行っている、街中はさらに大切だと思う	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	本心でぶつけられる集まりでなければいけない、出された意見は関係者がそれぞれ受け止める	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	畑がかたまっている場所が良い	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	民家にどのような対応しているか	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	家が多くなっている、バイパス沿いの転用が多い	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	国道、学校、住宅化、転用多い、継続難しい	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	田んぼが多いところは難しい	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	赤佐は継続できるエリアが多い	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	各地区の土地改良やパイプラインのあるところ、用水の整備されている場所は継続できそうなエリアが多い	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	いろいろと農地継続可能な場所がわかりました	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	中瀬地区も場所によっては開発している場所など難しそう	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	担い手がいるところが明確に分かってよかった	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	いろいろと整備が済んでいる場所がある	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	鹿玉地区も山手の方は難しそう	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	中瀬、鹿玉は畑が多い	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	各地区用水整備済み地域がある	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	中瀬小学校回りは民家が増えたイメージ	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	鹿玉は水田と果樹が混在するイメージ	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	赤佐のピアゴ東側は水管理が難しい	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	中瀬、赤佐は担い手(畑)が多いため将来的に問題ない	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	赤佐の北側にパイプラインがある	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	中瀬は民家が増えている	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	赤佐付近でもパイプラインの有無がある	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	152号沿いは宅地化や転用が進んでいる	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	赤佐、鹿玉では全体的に継続可能な農地が多いと感じた	R5.3.31
中瀬・赤佐・鹿玉	15	中瀬は宅地が増えている	R5.3.31
鹿玉	15	規模拡大を目指す人が14名	R2.12.21
鹿玉	15	14haからの希望者がいる事は、ある種に希望	R2.12.21
鹿玉	15	担い手に、酪農家や肉牛農家がカウントされていない	R2.12.21
鹿玉	15	まだ余力がある組合があるのでは？	R2.12.21
鹿玉	15	地図により、担い手の利用農地が少ないと思える	R2.12.21
鹿玉	15	要は、食えているのか？	R2.12.21
鹿玉	15	自分の代で撤退しようとしているのかを、どう読み取ったら良いのか？	R2.12.21
鹿玉	15	いかに実体に迫るか？が全体の課題だろう	R2.12.21
鹿玉	15	耕作放棄地が少ない。他の地域と比べ	R2.12.21
鹿玉	15	口約束？その他、農地が多く管理が心配	R2.12.21
鹿玉	15	畑作、水田ともに自作が多い	R2.12.21
鹿玉	15	農家の家内作業が限界に近づいている	R2.12.21
鹿玉	15	水田に関して、最近年齢と体の不調により水田ができなくなり、農協を通じて貸せる人が大夫でている。畑に関するには、植木関係が悪く、私も借りている畑、自作の畑を整理をしていますが、他も結構目立つようになってきました	R2.12.21
鹿玉	15	鹿玉地区は、他地区より農家が多く思いましたが、黄色の色が少ない気がしました	R2.12.21
鹿玉	15	時間通りにこなせない	R2.12.21
鹿玉	15	資料を短時間で読めない	R2.12.21

地区	地区No.	出された意見(個人が特定される意見は除いてあります。)	意見掲載日
鹿玉	15	出席してくれた人が、(きちきちやりすぎると)こりてしまう	R2.12.21
鹿玉	15	これからの時代を読めない(コロナ)	R2.12.21
鹿玉	15	書くという事になれないとついていけない	R2.12.21
鹿玉	15	テーマを絞るのが難しい	R2.12.21
鹿玉	15	資料の読み込みの難しさ	R2.12.21
鹿玉	15	本当の意見をだしてもらい難しさ	R2.12.21
鹿玉	15	荒れさせた条件の悪い農地を後継者(若い人)に任せる訳にいかない	R2.12.21
鹿玉	15	地図、白が多い。自作(担い手以外の)なのか、ヤミなのか、実態が掴めない	R2.12.21
鹿玉	15	高齢化しており、若い人がやっていたら疑問	R2.12.21
鹿玉	15	耕作できなくなったから、農家にやってもらいたい、と言っても農家も限界の面積	R2.12.21
鹿玉	15	尾野地区の水田は人気がある。ただ、しっかりやっている農家が、3名しかいないのが気がかり	R2.12.21
鹿玉	15	この話し合い自己啓発の研修会みたい。一般の人は、このやり方は意見がだせないのでは。書くことに慣れていない。次にやる時に、人が来ないのでは	R2.12.21
鹿玉	15	資料の読み込みの難しさがある	R2.12.21
鹿玉	15	やる気のある農業者を生み出す難しさ	R2.12.21
鹿玉	15	行政は農家が食べているか、いないかの議論を嫌がる	R2.12.21
鹿玉	15	このレポートをどう読み取るか、どう拾いあげていくか	R2.12.21
鹿玉	15	畑14名拡大希望、15haあるのは意外だった。期待されている	R2.12.21
鹿玉	15	鹿玉の課題は植木の後作。植木市場をみれば分かるように、植木が売れない	R2.12.21
鹿玉	15	住宅背景…和→洋、敷地が狭く、駐車場2~3台確保→庭が狭い	R2.12.21
鹿玉	15	昔の植木屋が配達(大きい)、今は持って帰る(小さい)	R2.12.21
鹿玉	15	ただ、コロナで外出しなくなり、庭いじりで需要が伸びている	R2.12.21
鹿玉	15	植木産業は、バブルの2年後に減少、コロナ不景気も遅れてくるのでは	R2.12.21
鹿玉	15	労働力の確保	R3.1.8
鹿玉	15	農業委員会と認定農業者(担い手)を中心とした地域単位の活動ができる組織体制と地域リーダーが必要	R3.1.8
鹿玉	15	地域で話し合いできる環境を醸成し、活動が無理なく長続きできることが大切だと思う。	R3.1.8
鹿玉	15	特にありません	R3.1.25
鹿玉	15	鹿玉地区と浜名地区は連続して連続して営農している方が多いので、地区を合併していただけると助かる。	R3.1.29
鹿玉	15	植木産業不振により農業や地域の振興に大きな影響を感じる。	R3.1.29
鹿玉	15	新原地区はまとまった農地が少ない土地柄で、そういうところの農地の利用方法を考えていくべき	R3.1.29
鹿玉	15	ますます地域の農業者のコミュニティの低下を感じる。農業者の話し合いの場を設けた方がいいと感じます。	R3.1.29